

平成 16年 3月期 第1四半期業績の概況 (連結)

平成 15年 8月 12日

上場会社名 宇部興産株式会社 (コード番号: 4208 東証第1部・福証)
 (URL http://www.ube.co.jp)
 問合せ先 代表者役職名 取締役会長兼代表取締役社長 氏名 常見 和正
 責任者役職名 I R 広報部長 氏名 泉原 雅人 TEL (03) 5419 - 6110

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : (有) ・ 無
 (内容)
 法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況
 (内容)
 連結(新規) 3社 持分法(除外) 4社

2. 平成 16年 3月期第1四半期の業績概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年 3月期第1四半期	117,697	1,094	824	778
(参考)14年 9月中間期	242,602	5,391	1,487	2,608
(参考)15年 3月期	513,535	26,399	16,052	8,120

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期第1四半期	0 93	- -
(参考)14年 9月中間期	3 11	2 97
(参考)15年 3月期	9 61	8 99

(注) 当該四半期より四半期業績の概況開示を行っているため、前年同四半期の実績および増減率については記載していません。

(2) 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等

当第1四半期は、ナフサ等原料価格の高止まり、セメント内需の一段の減少、SARS (重症急性呼吸器症候群) の影響によるアジア市場の一時的な需要減少など、当社を取り巻く事業環境は総じて厳しい中で推移しました。

このような状況下、当社の第1四半期の売上高は、1,176億円、営業利益10億円、経常利益 8億円、当期純利益 7億円となりました。

当社の業績は、化成品・樹脂及び機能品・ファイン製品の製造工場の定期修理が第1四半期に集中すること、建設資材部門の主力製品であるセメントの需要が下期に偏ること、機械製品の売上計上が年度末に集中し特に第1四半期の計上が少ないことなど、季節要因の影響を大きく受け、他の四半期に比べ低水準となります。

これを踏まえると、売上高については、ほぼ計画通りの進捗で、営業利益については、機械・金属成形部門で若干の下振れ要因があるものの、経常利益、当期純利益については計画に沿った結果となっています。

なお、セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂

カプロラクタム及びナイロン樹脂を始め出荷は堅調で、売上高は368億円となり、営業利益は工場の定期修理による補修費増、操業度低下による影響を大きく受けるため、6億円となりましたが、売上高、営業利益とも、ほぼ当初予想通りの進捗となっています。

機能品・ファイン

売上高は131億円、営業利益は7億円となりました。売上高、営業利益ともほぼ当初予想通りの進捗です。

エネルギー・環境

売上高は38億円、営業利益は2億円となりました。売上高、営業利益ともほぼ当初予想通りの進捗です。

建設資材

売上高は419億円、営業利益は13億円となりました。セメントは内需が予想を上回る減少となりましたが、一方輸出は好調であったことなどにより、売上高、営業利益ともほぼ当初予想通りとなりました。

機械・金属成形

売上高は206億円、営業利益は 8億円となりました。売上高はほぼ当初予想通りの進捗となりましたが、営業利益については、機械製品の売上計上が年度末に集中するという例年の季節要因に加え、当第1四半期における北米アルミホイール事業でのモデル変更に伴う一時的なコスト増やカナダドル高による米国向け輸出採算の悪化などの影響により、当初予想をやや下回りました。

その他

売上高は13億円、営業利益は1億円となりました。売上高、営業利益ともほぼ当初予想通りの進捗です。

(3)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当ありません。

3. 平成 16年 3月期の連結業績予想（平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	250,000	7,000	1,000	0	0	0
通期	530,000	29,000	18,000	10,000	11	66

(参考)1株当たり予想当期純利益は、当社が宇部日東化成(株)を完全子会社とするための株式交換を考慮した予想期中平均株式数によるものです。

業績予想に関する定性的情報等

宇部日東化成株式会社（持分法適用関連会社）の完全子会社化

当社は、平成15年4月24日開催の取締役会において、平成15年10月1日付けをもって、簡易株式交換により宇部日東化成株式会社（持分法適用関連会社）を完全子会社とすることを決定し、同日株式交換契約を締結しました。本株式交換は、宇部日東化成の平成15年6月27日開催の定時株主総会で特別決議を得ることが条件になっておりましたが、同総会において、特別決議により本件の承認が得られました。

連結業績予想

平成15年5月16日発表の業績予想（当初予想）では、宇部日東化成を完全子会社化する影響を織り込んでおりませんでしたので、今回予想では本影響を当初予想に加算致しました。本影響額以外は、現時点では当初予想に変更はありません。

上記業績予想は、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますので、ご承知願います。

以 上